事　業　報　告　書

自　　平成２８年　１月　１日
至　　平成２８年１２月３１日

公益社団法人日本女子プロ将棋協会

平成 28 年度　公益社団法人日本女子プロ将棋協会

事　業　報　告

（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

【定款より抜粋】

第 4 条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

（1）女性らしい感性を活かした日本の伝統文化である将棋の普及活動

（2）棋力向上のために対局を実施、棋道の研鑽に努め将棋発展へ寄与

（3）将棋の対局棋譜の提供および解説・講評、ウェブ中継等の実施

（4）女の子たちが夢と憧れを持って女流棋士を目指せる育成組織の形成

（5）指導者を養成するための技術指導・マニュアル作成

（6）礼儀・作法を大切にする将棋を通した国際親善

（7）高齢者や身障者へ合わせた将棋の楽しみ方の構築、地域・社会への貢献

（8）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2　前項の（1）～（8）の各事業は本邦および海外において行うものとする。

定款　第４条１項、６項に関する事業報告

１．将棋教室

（１）　麹町サロン　　毎週　木曜日　東京都千代田区
対象：初心者から有段者

（２）　プライベートレッスン　　適宜開催　　東京都千代田区
対象：初心者から有段者

（３）　GSP チャレンジ（プレ開催）　　４月、６月、10 月
女流棋士育成のための将棋塾　対象：女性有段者

２．普及イベント活動

（１）　地域密着型イベント「けやきカップ」3 月 20 日　　東京都府中市
（２）　将棋ファンとの交流イベント　　4 月、9 月、12 月　　東京都内
（３）　「女子将棋の日」イベント　　5 月 29 日　　東京都北区
（４）　LPSA 将棋フェス 2016　　11 月 20 日　　東京都港区
（５）　社会人団体リーグ戦　ブース出展　　6 月～10 月　　東京都港区

３．将棋大会開催活動

（１）　女性級位者大会　　2 月 11 日　　東京都港区
（２）　中学生女子名人戦　　4 月～8 月　　東京他全国 7 地区
（３）　小学生女子名人戦　　4 月～8 月　　東京他全国 7 地区
（４）　女子アマ王位戦　　8 月～12 月　　東京他全国 7 地区
（５）　女子アマ団体戦　　5 月 29 日、10 月 15 日　北区、千代田区
（６）　キッズ団体戦　　3 月 20 日、8 月 20 日、10 月 16 日
東京都府中市、千葉県習志野市、東京都千代田区
（７）　ダブルス将棋大会　　11 月 20 日　　東京都港区
（８）　級位者親睦将棋大会　　11 月 20 日　　東京都港区

４．子供への普及活動

（１）小学校の課外授業、日本伝統文化授業等へ棋士、インストラクターを派遣した。
（２）各イベント内でキッズ教室、親子教室などの入門講座を開催した。

定款　第４条２項、３項に関する事業計画

棋戦運営における関係団体は以下の通り。（平成 28 年 1 月 1 日現在）

１．女流王位戦（第 27 期　北海道・東京・中日・神戸・徳島・西日本各新聞社）

（１）　シード者以外の現役棋士全員が参加して、トーナメント形式の予選を行った。

（２）　シード者 6 名、予選通過者 6 名の計 12 名を紅白 2 組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行い、紅白の最高成績者１名を決定し、その勝者が挑戦者となる。

（３）　里見女流王位と岩根忍挑戦者との間で五番勝負を行い、3 連勝で里見女流王位がタイトルを防衛した。

２．1day トーナメント

（１）　けやきカップ　3 月 20 日　東京都府中市
女流棋士 6 名によりトーナメント戦を行った。
島井咲緒里二段と渡部愛初段が決勝を戦い、渡部愛初段が優勝した。

（２）　坪井カップ　　8 月 20 日　千葉県習志野市
女流棋士 8 名によりトーナメント戦を行った。
島井咲緒里二段と渡部愛初段が決勝を戦い、渡部愛初段が優勝した。

（３）　Ｍｉｎｅｒｖａカップ　12 月 17 日　東京都港区
女流棋士 10 名による予選と本戦トーナメント戦を行った。
渡部愛初段と堀彩乃 3 級が決勝を戦い、渡部愛初段が優勝した。

定款　第４条５項に関する事業計画

１．資格制度の構築

（１）将棋の教え方講座	3 月、6 月、10 月、12 月	東京都内
（２）インストラクター講習会	12 月 11 日	神奈川県川崎市
（３）インストラクター会議	12 月 11 日	神奈川県川崎市

定款　第４条８項に関する事業計画

１．広報活動

□　各報道関係者・出版機関に将棋文化の広報を行った。

□ 会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を発信した。
□ 全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力を行った。
□ テレビ・ラジオ番組（将棋関係）へ資料を提供し、制作に協力をした。
□ 新聞・雑誌からの取材等の協力をした。
□ 将棋対局における記録など資料をした。

２．普及ツールの開発事業

（１） 入門ツール

□ 将棋の絵本　「しょうぎのくにのだいぼうけん」　企画
□ カードゲーム　「ネコＳＨＯＧＩバトル」　考案、制作

（２） ツールを用いた普及促進

□ 「次の一手アプリ」配信・更新
□ 「はじめてのしょうぎセット」を用いた教室やイベント
□ ネコＳＨＯＧＩバトル関連グッズの制作
□ 扇子、布製将棋盤、その他オリジナルグッズ　随時販売